

能登半島地震 復興支援ニュース

◆支援メンバーの活動や、被災地支援の取り組みの様子を発信しています◆

「コープいしかわ復興支援ロゴ」ができました！

コープいしかわはこの度、復興支援のシンボルとして「負けとられん！ 能登を笑顔に」の復興支援ロゴを制作しました。

当ページの情報は、コープいしかわ部内報「リリヤン」より抜粋・要約しました



「負けとられん！ 能登を笑顔に」は、コープいしかわが復興支援に取り組む基本モチベーションを表現。「負けとられん！」などの文言は、のとセンター職員にアイデアを出してもらい、地元方言での石川らしさと主体的に災害から立ち上がる気持ちを表しています。

傷ついた能登をケアすること、居住地域に関係なくみんなですべてであることを示すため、コープいしかわ公式キャラクターコポ丸が能登半島を大事に抱きしめています。コープいしかわのロゴカラーで配色、元気が出るビタミンカラーの黄色をベースにしました。

発行：全国生協災害対策本部

編集：日本生協連渉外広報本部

アドレス: pr@jccu.coop

2024年3月19日発行 NO.22

co-op



せいきょうから、あしたへ

珠洲市で配送を再開

3月11日（月）週より、珠洲市での配送が再開しました。発災以降休止となっていた奥能登において、全市町で配送を再開することができました。



3月7日 のと北部センター朝礼の様子

奥能登3市3町でコープ宅配料を無料に

コープいしかわでは、3月11日（月）週配布の3月4回より、輪島市・珠洲市・能登町・穴水町・七尾市・志賀町でのコープ宅配料を無料にします。この新たな支援により被災した組合員の生活環境の改善につなげていきます。3市3町の組合員計2,505名（12月3回時点）と新規加入組合員が対象で、期間は2025年3月4回までとしています。

3月16日、大阪府生協連と富山県の生協が協力して、炊き出しを実施しました。午前は、能登町の小間生（おもう）公民館で、午後は、同じく能登町の柳田庁舎前と鶴川仮設住宅で、炊き込みご飯や焼うどん、たこ焼きなどを振るまいました。



小間生地区では、同地区限定で事前に必要数量を確認し、地域住民の協力を得て、デリバリー方式も採用しました。各世帯に配布し、喜ばれました。

当日の配食数

【午前】（小間生地区）
焼うどん250食、炊き込みご飯250食

【午後】
（柳田庁舎前）
きつねうどん300食、炊き込みご飯400食
（鶴川仮設住宅）
焼うどん100食、たこ焼き160食、ウインナー100食、焼き鳥100食

co-op



仮設住宅でたこ焼きを準備中

3月初め、日本生協連は、ごみの搬出や生活物資支援の搬送・整理などを手伝える活動のために、全国の生協に職員の派遣（3月11日～29日、1サイクル5日間）を呼びかけました。その活動の第2タームが3月18日から始まりました。（写真は第2タームのメンバーのみなさん）